



**グローバル・ロボティクス株式ファンド**  
(1年決算型)/(年2回決算型)  
(為替ヘッジあり・1年決算型)/(為替ヘッジあり・年2回決算型)

優秀ファンド賞



「1年決算型」/「年2回決算型」  
投資信託 テクノロジー関連外国株式部門

**2023年4-6月の運用状況と  
注目テーマのご紹介**

2023年1月以降、堅調なパフォーマンス推移が続く当ファンドは、7月20日に決算を行ない、当期の分配金は以下の通りとなりました。

本レポートでは、2023年4-6月の運用状況と注目テーマについて、当ファンドの投資顧問会社であるラザード・アセット・マネジメント・エルエルシー(ラザード社)のコメントをもとにご紹介いたします。

＜「1年決算型」基準価額の推移＞  
(2015年8月31日(設定日)～2023年7月20日)



＜2023年7月20日決算日時点の各ファンドの分配実績と基準価額＞

	1年決算型	年2回決算型	為替ヘッジあり・1年決算型	為替ヘッジあり・年2回決算型
当期の分配金	0円	1,000円	0円	0円
設定来の分配金合計 2023年7月20日現在	0円	11,550円	0円	8,450円
基準価額 (税引前分配金控除後) 2023年7月20日現在	30,837円	11,225円	21,317円	10,140円

※基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の、分配金は税引前のそれぞれ1万口当たりの値です。  
 ※世界株式:MSCIワールド指数(配当込み、円換算ベース)、基準価額の算出方法に対応させるため、前営業日の世界株式(米ドルベース)の値に当日の為替を用いて日興アセットマネジメントが円換算。上記指数は当ファンドのベンチマークではありません。  
 ※分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。  
 (信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)/(年2回決算型)/(為替ヘッジあり・1年決算型)/(為替ヘッジあり・年2回決算型)」へのご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

ファンドの振り返り①: 足元の運用状況

生成AIなどの普及期待などにより、情報技術など関連セクターが堅調

- 4-6月の株式市場は、市場予想を上回る良好な企業決算や、米債務上限問題を巡る懸念が払拭されたことで概ね堅調に推移したものの、期末にかけては、米欧の金融引き締め長期化懸念や中国経済の成長鈍化などが重しとなる場面も見られました。
- 当ファンドにおいては、生成AI(人工知能)の普及が期待されるなか、米半導体大手が、AI向け半導体の需要好調を背景に市場予想を大きく上回る売上高見通しを示したことなどもあり、情報技術を筆頭に関連セクターがいずれも良好に推移し、基準価額の堅調なパフォーマンスにつながりました。

1年間の基準価額推移



※基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の値です。

※世界株式: MSCIワールド指数(配当込み、円換算ベース)、基準価額の算出方法に対応させるため、前営業日の世界株式(米ドルベース)の値に当日の為替を用いて日興アセットマネジメントが円換算。上記指数は当ファンドのベンチマークではありません。

【1年間の主な出来事】

2022年7-9月	2022年10-12月	2023年1-3月	2023年4-6月
<ul style="list-style-type: none"> <li>企業業績の底堅さを評価する動き</li> <li>インフレ加速を背景とした世界的な利上げ</li> <li>金融引き締めに伴う世界景気と企業業績の悪化懸念</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>米国の利上げペースの鈍化期待</li> <li>中国のゼロコロナ政策の一部緩和</li> <li>日銀の金融政策の一部修正</li> <li>米国の景気減速懸念</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>米欧で利上げ早期停止期待</li> <li>中国のゼロコロナ政策が事実上終了し、経済活動が再開</li> <li>米欧での金融システム不安</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>米国の債務上限問題を巡る懸念の解消</li> <li>中国の景気減速懸念</li> <li>主要各国企業の良好な決算内容や米半導体大手の堅調な売上高見通し</li> </ul>

【ご参考】世界株式と当ファンドの主要関連セクターの四半期騰落率(円換算ベース)

2022年7-9月	2022年10-12月	2023年1-3月	2023年4-6月
一般消費財・サービス 7%	資本財・サービス 7%	情報技術 21%	情報技術 24%
資本財・サービス 1%	ヘルスケア 2%	コミュニケーション・サービス 18%	一般消費財・サービス 21%
情報技術 0%	世界株式 -1%	一般消費財・サービス 15%	コミュニケーション・サービス 20%
世界株式 0%	情報技術 -6%	世界株式 8%	世界株式 16%
ヘルスケア -0%	コミュニケーション・サービス -10%	資本財・サービス 7%	資本財・サービス 16%
コミュニケーション・サービス -7%	一般消費財・サービス -13%	ヘルスケア -1%	ヘルスケア 11%

※上記は、業種別指数の騰落率であり、当ファンドの組入銘柄の騰落率ではありません。

※上記は、MSCIワールド指数および同指数の業種別指数(配当込み)、基準価額の算出方法に対応させるため、前営業日の世界株式(米ドルベース)の値に当日の為替を用いて日興アセットマネジメントが円換算。上記指数は当ファンドのベンチマークではありません。

(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

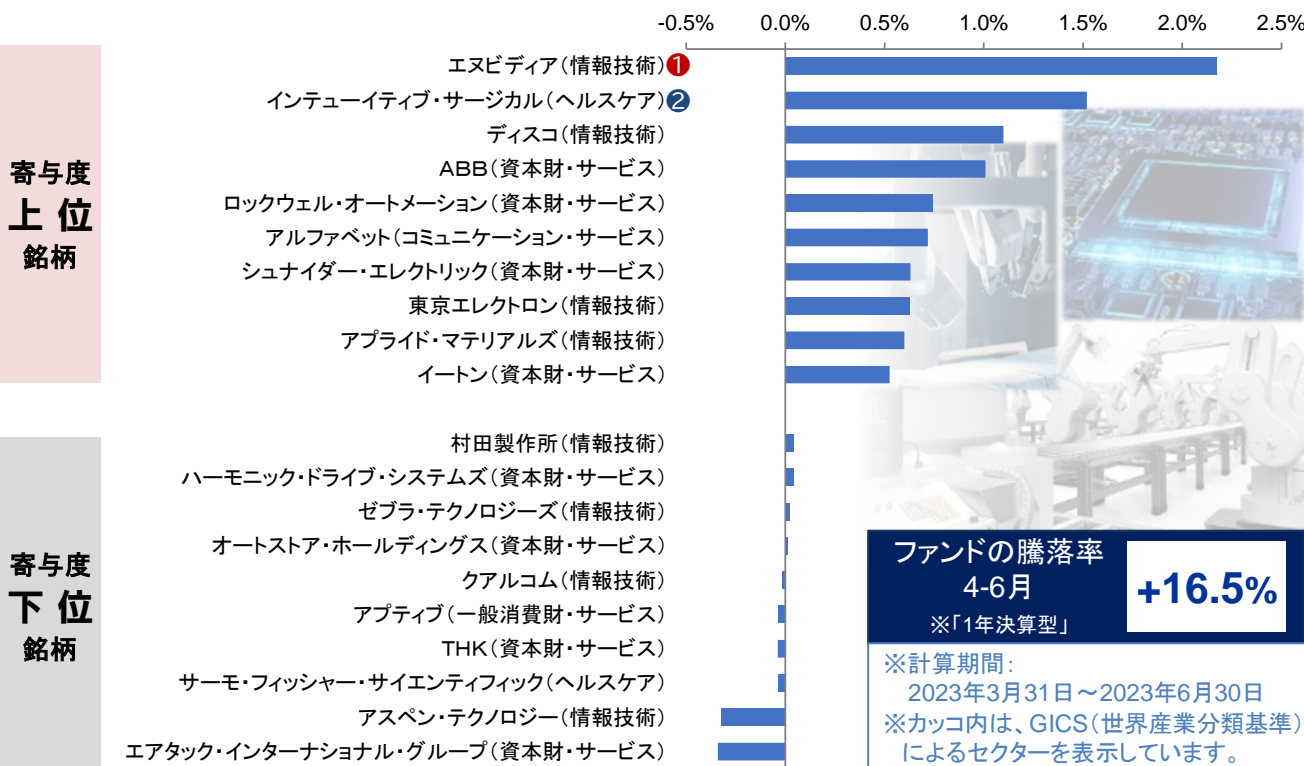
当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)/(年2回決算型)/(為替ヘッジあり・1年決算型)/(為替ヘッジあり・年2回決算型)」へのご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

ファンドの振り返り②: 寄与度分析より

幅広い銘柄が上昇した4-6月

- 4-6月の銘柄別パフォーマンス寄与度では、市場予想を上回る売上高見通しや決算の発表により、株価が大幅上昇した米半導体大手が、大きくプラスに寄与しました。また、生成AI関連銘柄を含む、その他幅広い銘柄が、当ファンドの堅調なパフォーマンスを支えました。

銘柄別パフォーマンス寄与度(2023年4-6月)



From LAZARD ~ラザード・コメント~

4-6月は、米国債務上限問題の解決や、米利上げの一時停止といったマクロ環境面での追い風に加え、生成AI関連のような成長期待の高い銘柄が市場で評価されたことなどを背景に、米国や日本の株式市場は堅調な展開となりました。

当ファンドにおいては、**インフレに伴う原材料価格の上昇を製品価格へ転嫁できると見込まれる企業への選別投資**のほか、**イノベーションによって、賃金インフレや気候変動問題などの世界的な課題の解決に寄与すると考えられる企業に注目して投資**を行なってきました。

このような中、生成AIの普及により主力のGPU(画像処理半導体)の需要が好調となったことから、米半導体大手【上記①】の株価が大きく上昇しました。また、米ヘルスケア企業【上記②】では、手術用ロボットの手術件数が、前年同期比で増加したことなどにより株価が好調に推移しました。

●寄与度は、上記期間中の基準価額の変動において、各銘柄の変動がどれだけ影響しているかを示したものです。また、実際の基準価額の騰落に対する寄与度を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧ください。●各銘柄の日次の保有比率および株価を基に為替変動などを考慮して計算した概算値であり、実際の取引価格やファンドが負担するコスト(売買手数料や信託報酬など)などは考慮されていません。なお、当ファンドにおける各銘柄の保有期間は異なります。●上記銘柄について、**売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものではありません。また、当ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。**

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当ファンドの投資テーマ

「労働力不足」を軸に、構造変化を捉えた5つのテーマに着目

- 当ファンドが着目する「ロボティクス」は、世界的課題である労働力不足を解決する手段として、息の長い成長分野だと考えています。
- 近年、テクノロジー関連の株式が上昇していることを背景に、バブルやブームではないかという声も聞かれますが、ロボティクスへの需要は、社会の構造変化とともに拡大・成長を続けており、一過性ではなく、中長期的な「メガトレンド」として注目しています。

コアテーマ: **労働力不足**

世界的課題である「労働力不足」の克服という、  
“必然のニーズ”に支えられた、骨太で息の長いテーマ



“構造変化”に着目した**5つのテーマ**



※写真はイメージです。

※本資料は、ラザード社からのコメントと日興アセットマネジメントが入手したデータなどをもとに作成したものです。当コメントは、資料作成時点における市場環境もしくは今後の運用方針等について、運用担当者の見解などを記載したものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。また、見解、見通しは変更される場合があります。

当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)/(年2回決算型)/(為替ヘッジあり・1年決算型)/(為替ヘッジあり・年2回決算型)」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

当ファンドの投資テーマ

## “構造変化”に着目した5つのテーマ①

以下では、ラザード社が着目する5つのテーマについて、足元の見通しも含めご紹介いたします。

### 生成AI

学習したデータをもとに、自動的にコンテンツを生成する生成AIの開発競争が足元で激化しており、関連する企業は株式市場でも注目を集めています。

生成AIの登場は、これまで代替が難しいとされていたプロフェッショナルな職業にも自動化の波をもたらそうとしています。

こうした潮流が、生産性を大きく向上させ、労働力不足など、社会が抱える課題の解決に寄与すると期待しています。



### データ（データセンター）

デジタル化の進展と共に増え続けるデータ需要に対し、サーバーやネットワーク機器などのIT機器を収容する施設であるデータセンターへの投資が急速に進んでいます。

今後は、よりリアルタイムなデータ活用が求められるようになることから、データ蓄積の効率化や、分析コストの低減の観点でも、データセンターの果たす役割が重要になると考えられます。

また、開発競争が進む生成AIの利活用の進展も、データ需要を押し上げることから、データ(データセンター)関連への投資機会は今後も豊富だと考えています。



### デジタルツイン

現実世界を仮想空間上で再現し、事業の効率化などにつなげるデジタルツインの利用は、製造業を中心に、着実に拡大しています。

多様化する顧客ニーズに対し、製品開発サイクルや、生産リードタイムの短縮化などで貢献するデジタルツインは、実際の試作品の製作回数を減少させたり、仮想空間上での実証実験によって、コスト削減や資源の有効活用にも寄与します。

環境への配慮や、激しい変化への対応が求められる中、時代に即した技術として、今後も活用が一層進むと期待しています。



※写真はイメージです。

(次のページに続きます)

※本資料は、ラザード社からのコメントと日興アセットマネジメントが入手したデータなどをもとに作成したものです。当コメントは、資料作成時点における市場環境もしくは今後の運用方針等について、運用担当者の見解などを記載したものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。また、見解、見通しは変更される場合があります。

当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)/(年2回決算型)/(為替ヘッジあり・1年決算型)/(為替ヘッジあり・年2回決算型)」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

当ファンドの投資テーマ

## “構造変化”に着目した5つのテーマ②

(前のページより続きます)

### 工場と物流の自動化

労働市場のひっ迫がもたらす賃金上昇は、インフレ長期化の要因となっています。そのため、労働力の代替として、工場や物流の自動化のニーズが高まっています。また、地政学リスクなどの観点から、先進各国で、生産拠点などサプライチェーンの一角を国内回帰させる動きが進んでおり、自動化ニーズの追い風となっています。

このような需要の拡大は、規模の経済による導入コストの低減につながり、コストの低減はさらに自動化を促すという良い循環を生み出すと考えられます。

加えて、技術進歩による人協働ロボットや自律ロボットなどの登場が、自動化の利用を従来の領域外にまで拡大させると期待しています。



### 気候変動（脱炭素）

地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出量削減は、規制や技術進化、新技術の導入コストなど、様々な要因に左右されるものの、中長期にわたり世界が取り組むべき課題です。

ロボティクスはこの課題に対し、技術進歩や、新技術の導入コストの低減といった側面で貢献しています。

温室効果ガス排出量ゼロの目標達成までに、どのような技術に投資が行なわれ、その恩恵を受けるロボティクス関連企業がどこかということを見極め、持続可能な社会の実現に貢献することに加え、この「メガトレンド」の中にある投資機会に注目しています。



※写真はイメージです。

**LAZARD**  
ASSET MANAGEMENT

※本資料は、ラザード社からのコメントと日興アセットマネジメントが入手したデータなどをもとに作成したものです。当コメントは、資料作成時点における市場環境もしくは今後の運用方針等について、運用担当者の見解などを記載したものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。また、見解、見直しは変更される場合があります。

当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)/(年2回決算型)/(為替ヘッジあり・1年決算型)/(為替ヘッジあり・年2回決算型)」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## 主な受賞歴のご紹介

「グローバル・ロボティクス株式ファンド」シリーズは、パフォーマンスについて、評価機関より以下のような評価を頂いています。



モーニングスター・アワード  
“Fund of the Year 2019”

### 優秀ファンド賞

＜対象ファンド＞  
「1年決算型」

＜部門名＞

国際株式型(グローバル) 部門



「R&Iファンド大賞2023」  
(投資信託部門)

### 優秀ファンド賞

＜対象ファンド＞  
「1年決算型」「年2回決算型」

＜部門名＞

投資信託 テクノロジー関連外国株式部門

#### 【Morningstar Award “Fund of the Year 2019”に関する留意事項】

Morningstar Award “Fund of the Year 2019”は国内追加型株式投資信託を選考対象として、モーニングスター※(現:ウエルスアドバイザー株式会社)独自の定量分析、定性分析に基づき、2019年において各部門別に総合的に優秀であるとモーニングスター※(現:ウエルスアドバイザー株式会社)が判断したものです。国際株式型(グローバル)部門は、2019年12月末において当該部門に属するファンド546本の中から選考されました。

当賞は過去の情報に基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また、モーニングスター※(現:ウエルスアドバイザー株式会社)が信頼できると判断したデータにより評価しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。著作権等の知的所有権その他一切の権利はモーニングスター株式会社※(現:ウエルスアドバイザー株式会社)並びに Morningstar, Inc. に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。

※ モーニングスター株式会社は2023年3月30日付で、SBIグローバルアセットマネジメント株式会社に社名を変更いたしました。現在、投資情報サービスおよび投信評価事業は同社の子会社であるウエルスアドバイザー株式会社で行っております。

#### 【R&Iファンド大賞について】

「R&Iファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

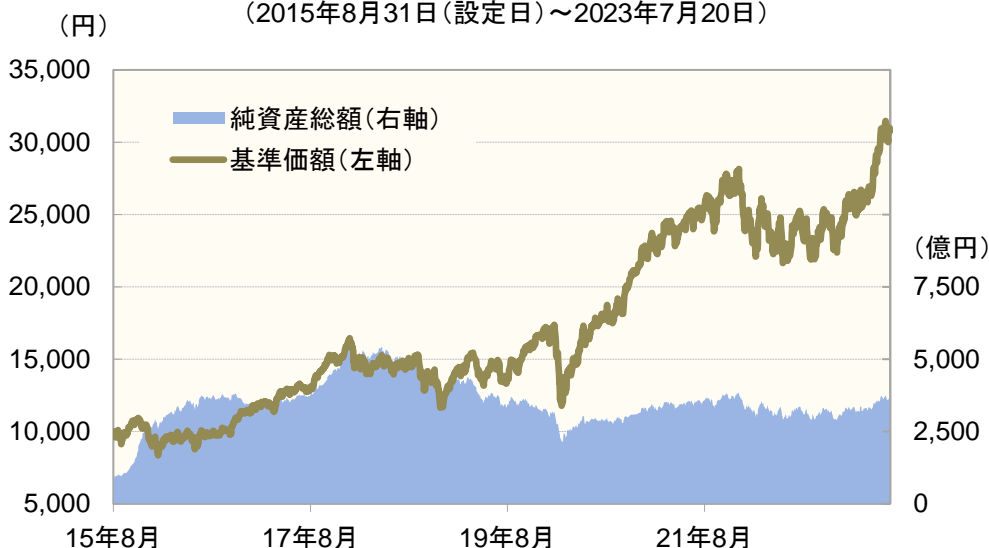
当賞は、過去3年間を選考期間とし、シャープレシオによるランキングに基づき、最大ドローダウンを加味したうえで選考しています。評価基準日は2023年3月31日です。



## 基準価額と純資産総額の推移①

### 1年決算型

(2015年8月31日(設定日)～2023年7月20日)



<分配金実績(過去5年)>

2019年7月	0円
2020年7月	0円
2021年7月	0円
2022年7月	0円
2023年7月	0円
設定来合計	0円

<基準価額>

**30,837円**

<純資産総額>

**3,656億円**

(2023年7月20日現在)

### 年2回決算型

(2015年8月31日(設定日)～2023年7月20日)



<分配金実績(過去5年)>

2019年	1月	0円	7月	0円
2020年	1月	1,500円	7月	300円
2021年	1月	2,000円	7月	1,500円
2022年	1月	950円	7月	0円
2023年	1月	0円	7月	1,000円
設定来合計		11,550円		

<基準価額>

(税引前分配金再投資ベース)

**30,885円**

(税引前分配金控除後)

**11,225円**

<純資産総額>

**3,985億円**

(2023年7月20日現在)

※基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後、分配金は税引前の1万口当たりの値です。  
 ※税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したものと計算した理論上のものであることにご留意ください。  
 ※分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合があります。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)/(年2回決算型)/(為替ヘッジあり・1年決算型)/(為替ヘッジあり・年2回決算型)」へのご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。



## 基準価額と純資産総額の推移②

### 為替ヘッジあり・1年決算型

(2017年1月23日(設定日)～2023年7月20日)



<分配金実績(過去5年)>

2019年7月	0円
2020年7月	0円
2021年7月	0円
2022年7月	0円
2023年7月	0円
設定来合計	0円

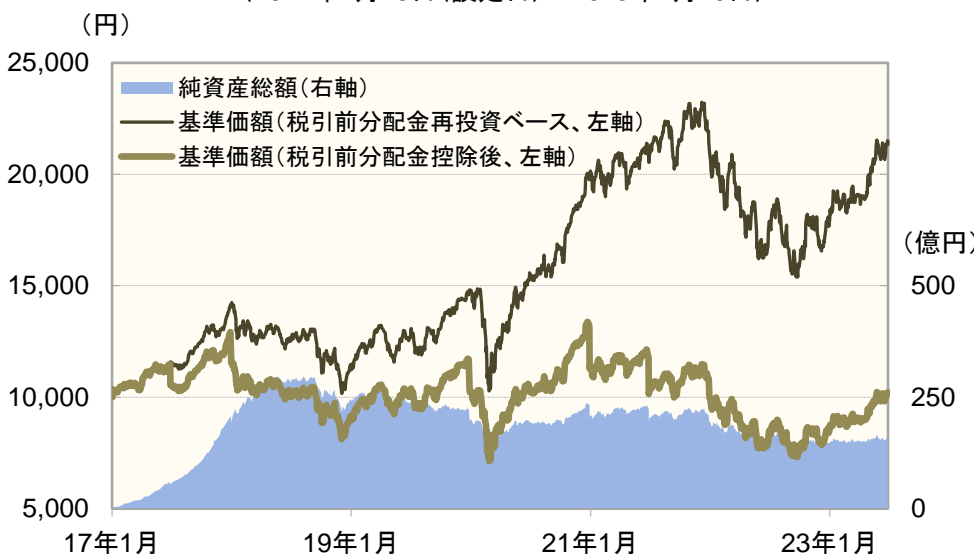
<基準価額>  
21,317円

<純資産総額>  
165億円

(2023年7月20日現在)

### 為替ヘッジあり・年2回決算型

(2017年1月23日(設定日)～2023年7月20日)



<分配金実績(過去5年)>

2019年	1月	0円	7月	50円
2020年	1月	1,500円	7月	400円
2021年	1月	2,000円	7月	1,500円
2022年	1月	400円	7月	0円
2023年	1月	0円	7月	0円
設定来合計		8,450円		

<基準価額>  
(税引前分配金再投資ベース)  
21,339円

(税引前分配金控除後)  
10,140円

<純資産総額>  
156億円

(2023年7月20日現在)

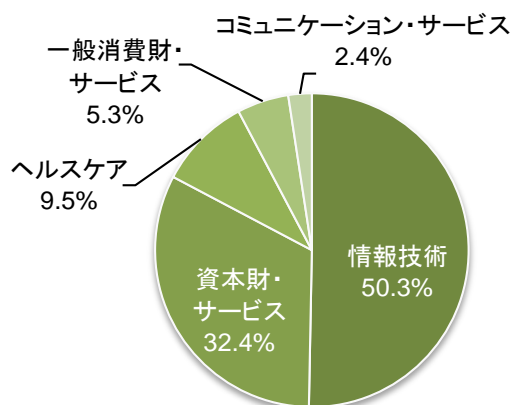
※基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後、分配金は税引前の1万口当たりの値です。  
 ※税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したものと計算した理論上のものであることにご留意ください。  
 ※分配金額は収益配分方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

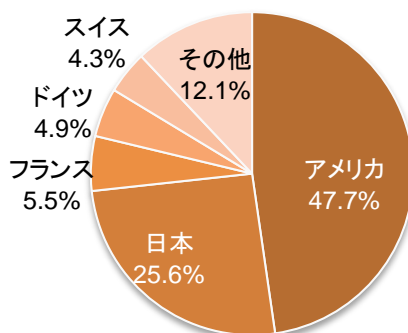
当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)/(年2回決算型)/(為替ヘッジあり・1年決算型)/(為替ヘッジあり・年2回決算型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## ポートフォリオの概要（2023年6月末現在）

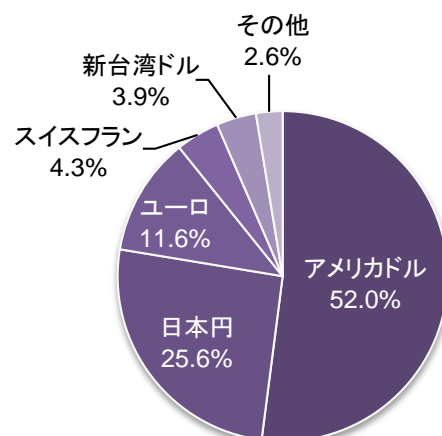
### 業種別比率



### 国別比率



### 通貨別比率



### 組入上位10銘柄（組入銘柄数：52銘柄）

	銘柄	国名	業種	比率
1	ABB LTD-REG A B B	スイス	資本財・サービス	4.3%
2	キーエンス	日本	情報技術	4.0%
3	INTUITIVE SURGICAL INC インテューイティブ・サージカル	アメリカ	ヘルスケア	3.8%
4	ROCKWELL AUTOMATION INC ロックウェル・オートメーション	アメリカ	資本財・サービス	3.7%
5	NVIDIA CORP エヌビディア	アメリカ	情報技術	3.6%
6	SCHNEIDER ELECTRIC SE シュナイダー・エレクトリック	フランス	資本財・サービス	3.4%
7	ディスコ	日本	情報技術	2.9%
8	INFINEON TECHNOLOGIES AG インフィニオン・テクノロジーズ	ドイツ	情報技術	2.8%
9	ALPHABET INC-CL C アルファベット	アメリカ	コミュニケーション・サービス	2.4%
10	THERMO FISHER SCIENTIFIC INC サーモ・フィッシャー・サイエンティフィック	アメリカ	ヘルスケア	2.4%

※上記の各数値はグローバル・ロボティクス株式マザーファンドの状況で、組入株式時価総額比です。

各比率は四捨五入しており合計が100%とならない場合があります。

※「組入上位10銘柄」は、個別銘柄の取引を推奨するものでも、将来の組入れを保証するものでもありません。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

## ファンドの特色

1. 世界各国の株式の中から主にロボティクス関連企業の株式に投資を行いません。
2. 銘柄選定は、株式のアクティブ運用に注力するラザード社が、徹底した調査に基づき行いません。
3. お客様の運用ニーズに応じて、決算頻度や為替ヘッジの有無が異なる4ファンドからお選びいただけます。

市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

## お申込みに際しての留意事項

### ■リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様へ帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

**【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】【有価証券の貸付などにおけるリスク】**

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

### ■その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)／(年2回決算型)／(為替ヘッジあり・1年決算型)／(為替ヘッジあり・年2回決算型)」へのご理解を高めいただくことを目的として日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様へ帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

## お申込みメモ

商品分類	追加型投信／内外／株式
購入単位	販売会社が定める単位 ※販売会社の照会先にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
信託期間	<1年決算型>／<年2回決算型> 2035年7月20日まで(2015年8月31日設定) <為替ヘッジあり・1年決算型>／<為替ヘッジあり・年2回決算型> 2035年7月20日まで(2017年1月23日設定)
決算日	<1年決算型>／<為替ヘッジあり・1年決算型> 毎年7月20日(休業日の場合は翌営業日) <年2回決算型>／<為替ヘッジあり・年2回決算型> 毎年1月20日、7月20日(休業日の場合は翌営業日)
購入・換金 申込不可日	販売会社の営業日であっても、購入・換金の申込日がニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行休業日に該当する場合は、購入・換金の申込みの受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。

## 手数料等の概要

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

### <申込時、換金時にご負担いただく費用>

購入時手数料	購入時の基準価額に対し3.85%(税抜3.5%)以内 ※購入時手数料(スイッチングの際の購入時手数料を含みます。)は販売会社が定めます。 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。		
換金手数料	ありません。	信託財産留保額	ありません。

※販売会社によっては、一部のファンドのみの取扱いとなる場合やスイッチングが行なえない場合があります。  
詳しくは販売会社にお問い合わせください。

### <信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの日々の純資産総額に対し年率1.936%(税抜1.76%)
その他の費用・ 手数料	目論見書などの作成・交付および計理等の業務に係る費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。 組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息、立替金の利息および貸付有価証券関連報酬(有価証券の貸付を行なった場合は、信託財産の収益となる品賃料に0.55(税抜0.5)を乗じて得た額)などがその都度、信託財産から支払われます。 ※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。

※投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

**委託会社、その他関係法人**

委託会社	日興アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号 加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
投資顧問会社	ラザード・アセット・マネージメント・エルエルシー
受託会社	三井住友信託銀行株式会社
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 日興アセットマネジメント株式会社 [ホームページ]www.nikkoam.com/ [コールセンター]0120-25-1404(午前9時~午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

**投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは**

1年決算型	年2回決算型	為替ヘッジあり・1年決算型	為替ヘッジあり・年2回決算型	金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会					
						日本証券業協会	日本投資顧問業協会	取引業協会	一般社団法人	第一種金融商品取引業協会	
○				アイオー信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第230号					
○	○			アイザワ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第3283号	○	○			○
○				株式会社愛知銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第12号	○	○			
○	○	○	○	あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第67号	○	○	○		
○				株式会社秋田銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第2号	○	○			
○	○			足利小山信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第217号					
○	○			株式会社足利銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第43号	○	○		○	
○				足立成和信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第144号					
○				尼崎信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第39号	○	○			
○	○			株式会社イオン銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第633号	○	○			
○	○			株式会社池田泉州銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第6号	○	○		○	
○	○			池田泉州TT証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第370号	○	○			
○				今村証券株式会社	金融商品取引業者	北陸財務局長(金商)第3号	○	○			
○	○			株式会社伊予銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第2号	○	○		○	
○				岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第15号	○	○	○		
○				株式会社岩手銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第3号	○	○			
○	○	○	○	auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○	○	○		
○	○	○	○	SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○		○
○	○	○	○	株式会社SBI証券 ※右の他に一般社団法人日本STO協会にも加入	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○	○		○	○
○	○	○	○	株式会社SBI新生銀行 (委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券) (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○	○		○	
○	○			株式会社大垣共立銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第3号	○	○			
○	○			大川信用金庫	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第19号					
○	○			OKB証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第191号	○	○			
○				大阪シティ信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第47号	○	○			
○	○			大阪信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第45号					
○				大田原信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第219号					
○				大牟田柳川信用金庫	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第20号					
○				岡崎信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第30号	○	○			
○	○			岡三証券株式会社 ※右の他に一般社団法人日本暗号資産取引業協会にも加入	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第53号	○	○	○		○
○	○	○	○	岡地証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第5号	○	○			
○	○	○	○	おかやま信用金庫	登録金融機関	中国財務局長(登金)第19号	○	○			
○				おきぎん証券株式会社	金融商品取引業者	沖繩総合事務局長(金商)第1号	○	○			
○				株式会社沖繩銀行	登録金融機関	沖繩総合事務局長(登金)第1号	○	○			
○				株式会社香川銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第7号	○	○			
○				香川証券株式会社	金融商品取引業者	四国財務局長(金商)第3号	○	○			
○				株式会社鹿児島銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第2号	○	○			
○	○			株式会社鹿児島銀行 (委託金融商品取引業者 九州FG証券株式会社)	登録金融機関	九州財務局長(登金)第2号	○	○			
○				鹿児島相互信用金庫	登録金融機関	九州財務局長(登金)第26号					
○				柏崎信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第242号					

(次ページに続きます)

当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)/(年2回決算型)/(為替ヘッジあり・1年決算型)/(為替ヘッジあり・年2回決算型)」へのご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

(前ページより続きます)

1年決算型	年2回決算型	為替ヘッジあり・1年決算型	為替ヘッジあり・年2回決算型	金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会				
						日本証券業協会	日本投資顧問業協会	一般社団法人取引業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
	○			株式会社神奈川銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第55号	○				
○				鹿沼相互信用金庫	登録金融機関 関東財務局長(登金)第221号					
○				観音寺信用金庫	登録金融機関 四国財務局長(登金)第17号					
○	○			株式会社関西みらい銀行	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第7号	○			○	
	○			北伊勢上野信用金庫	登録金融機関 東海財務局長(登金)第34号					
	○			北群馬信用金庫	登録金融機関 関東財務局長(登金)第233号					
○	○			きのくに信用金庫	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第51号					
○	○			九州FG証券株式会社	金融商品取引業者 九州財務局長(金商)第18号	○				
○	○			京都中央信用金庫	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第53号	○				
○	○			京都北都信用金庫	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第54号					
○	○			株式会社きらぼし銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第53号	○			○	
○	○			株式会社きらぼし銀行 (委託金融商品取引業者 きらぼしライフデザイン証券株式会社)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第53号	○			○	
○	○			きらぼしライフデザイン証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第3198号	○				
○				株式会社きらやか銀行	登録金融機関 東北財務局長(登金)第15号	○				
○				相生信用金庫	登録金融機関 関東財務局長(登金)第234号					
○				熊本第一信用金庫	登録金融機関 九州財務局長(登金)第14号					
○	○			呉信用金庫	登録金融機関 中国財務局長(登金)第25号					
○				ぐんぎん証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2938号	○				
○				株式会社群馬銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第46号	○			○	
○	○			興能信用金庫	登録金融機関 北陸財務局長(登金)第19号					
○	○			湖東信用金庫	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第57号					
○				株式会社西京銀行	登録金融機関 中国財務局長(登金)第7号	○				
○	○			株式会社佐賀共栄銀行	登録金融機関 福岡財務支局長(登金)第10号	○				
○				さがみ信用金庫	登録金融機関 関東財務局長(登金)第191号					
○				佐野信用金庫	登録金融機関 関東財務局長(登金)第223号					
○				さわやか信用金庫	登録金融機関 関東財務局長(登金)第173号	○				
○	○			株式会社三十三銀行	登録金融機関 東海財務局長(登金)第16号	○				
○				三条信用金庫	登録金融機関 関東財務局長(登金)第244号					
○	○			Jトラストグローバル証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第35号	○				
	○			株式会社滋賀銀行	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第11号	○			○	
	○			四国アライアンス証券株式会社	金融商品取引業者 四国財務局長(金商)第21号	○				
○	○			静銀ティーエム証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第10号	○				
○	○			七十七証券株式会社	金融商品取引業者 東北財務局長(金商)第37号	○				
○				しのめ信用金庫	登録金融機関 関東財務局長(登金)第232号					
○	○			株式会社証券ジャパン	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第170号	○	○			
○		○		株式会社荘内銀行	登録金融機関 東北財務局長(登金)第6号	○				
○				城北信用金庫	登録金融機関 関東財務局長(登金)第147号	○				
○	○			株式会社常陽銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第45号	○			○	
○	○			株式会社常陽銀行 (委託金融商品取引業者 めぶき証券株式会社)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第45号	○			○	
○				白河信用金庫	登録金融機関 東北財務局長(登金)第36号					
○				新庄信用金庫	登録金融機関 東北財務局長(登金)第37号					
○				スルガ銀行株式会社	登録金融機関 東海財務局長(登金)第8号	○				
○				静清信用金庫	登録金融機関 東海財務局長(登金)第43号	○				
○				西武信用金庫	登録金融機関 関東財務局長(登金)第162号	○				
○	○			関信用金庫	登録金融機関 東海財務局長(登金)第45号					
○				瀬戸信用金庫	登録金融機関 東海財務局長(登金)第46号	○				
○	○			株式会社第四北越銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第47号	○			○	
○	○			第四北越証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第128号	○				
○	○			大和証券株式会社 ※右の他に一般社団法人日本STO協会にも加入	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号	○	○	○	○	
○	○			高崎信用金庫	登録金融機関 関東財務局長(登金)第237号					
○				高松信用金庫	登録金融機関 四国財務局長(登金)第20号					
○	○			但馬信用金庫	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第67号					
○				玉島信用金庫	登録金融機関 中国財務局長(登金)第30号					
○	○			知多信用金庫	登録金融機関 東海財務局長(登金)第48号					
○	○			株式会社千葉銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第39号	○			○	
○	○	○	○	東海東京証券株式会社 ※右の他に一般社団法人日本STO協会にも加入	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第140号	○			○	○
○				東京東信用金庫	登録金融機関 関東財務局長(登金)第179号	○				
○				株式会社東邦銀行	登録金融機関 東北財務局長(登金)第7号	○				
○				とうほう証券株式会社	金融商品取引業者 東北財務局長(金商)第36号	○				
○	○	○	○	東洋証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号	○				○
○	○			株式会社徳島大正銀行	登録金融機関 四国財務局長(登金)第10号					
○	○			栃木信用金庫	登録金融機関 関東財務局長(登金)第224号					
○	○			鳥取信用金庫	登録金融機関 中国財務局長(登金)第35号					

(次ページに続きます)

当資料は、投資者の皆様にご覧いただく「グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)/(年2回決算型)/(為替ヘッジあり・1年決算型)/(為替ヘッジあり・年2回決算型)」へのご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

(前ページより続きます)

1年決算型	年2回決算型	為替ヘッジあり・1年決算型	為替ヘッジあり・年2回決算型	金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会				
						日本証券業協会	日本投資顧問業協会	一般社団法人取引業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
○	○			株式会社トマト銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第11号	○			
○	○			株式会社富山銀行	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第1号	○			
○				株式会社富山第一銀行	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第7号	○			
○				豊川信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第54号				
○	○			内藤証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第24号	○			○
○	○			株式会社長崎銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第11号	○			
○				長野信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第256号	○			
○				株式会社名古屋銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第19号	○			
○				奈良信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第71号	○			
○				奈良中央信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第72号				
○	○			株式会社南都銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第15号	○			
	○			西尾信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第58号	○			
	○			西中国信用金庫	登録金融機関	中国財務局長(登金)第29号				
○	○			株式会社西日本シティ銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第6号	○		○	
○	○		○	西日本シティT証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長(金商)第75号	○			
○				のと共栄信用金庫	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第30号				
○	○	○	○	野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○
○	○			株式会社八十二銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第49号	○		○	
○	○	○	○	株式会社八十二銀行 (委託金融商品取引業者八十二証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第49号	○		○	
○	○	○	○	八十二証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第21号	○	○		
○	○			浜銀T証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第1977号	○			
○				浜松磐田信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第61号				
○	○			播州信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第76号	○			
○				飯能信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第203号				
○	○			PWM日本証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第50号	○			○
○	○			株式会社肥後銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第3号	○			
○	○			株式会社肥後銀行 (委託金融商品取引業者九州FG証券株式会社)	登録金融機関	九州財務局長(登金)第3号	○			
○				姫路信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第80号	○			
○	○			百五証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第134号	○			
○	○			兵庫信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第81号	○			
○				平塚信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第196号				
○	○			ひろぎん証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第20号	○			
○		○		株式会社広島銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第5号	○		○	
○	○			フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第152号	○	○		
○	○			株式会社福井銀行	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第2号	○		○	
○	○			福岡ひびき信用金庫	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第24号	○			
○	○	○	○	PayPay銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第624号	○		○	
○				碧海信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第66号	○			
○	○			株式会社北都銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第10号	○			
○	○	○	○	北洋証券株式会社	金融商品取引業者	北海道財務局長(金商)第1号	○			
○	○			株式会社北海道銀行	登録金融機関	北海道財務局長(登金)第1号	○			○
○	○	○	○	松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第164号	○			○
○	○	○	○	マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	○
○	○	○	○	丸三証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第167号	○			
○	○			丸八証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第20号	○			
○				三島信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第68号				
○				水島信用金庫	登録金融機関	中国財務局長(登金)第48号				
○	○			株式会社みちのく銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第11号	○			
○	○	○	○	株式会社三井住友銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第54号	○			○
○	○			三井住友信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第649号	○	○	○	
○	○	○	○	株式会社三菱UFJ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
○	○	○	○	株式会社三菱UFJ銀行 (委託金融商品取引業者三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
○	○	○	○	三菱UFJ信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第33号	○	○	○	
○	○	○	○	三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2336号	○	○	○	○
○				株式会社みなと銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第22号	○		○	
○				株式会社宮崎太陽銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第10号	○			
○	○	○	○	株式会社武蔵野銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第38号	○			
○	○			明和證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第185号	○			
○	○			めぶき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第1771号	○			
○				大和信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第88号	○			
○				株式会社山梨中央銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第41号	○			
○	○	○	○	楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
○				留萌信用金庫	登録金融機関	北海道財務局長(登金)第36号				
○	○	○	○	ワイエム証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第8号	○			

※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。

(資料作成日現在、50音順)